

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅲ-3-3 国際化と多文化共生の推進
---------	----------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	文化国際課長 坂本 偉健	電話番号	0852-22-6006
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	北東アジア地域との交流		
目的	(1) 対象	県民、北東アジア地域住民	
	(2) 意図	北東アジア地域への関心を高め、相互理解と交流を拡大する。	
事業概要	北東アジア地域の伝統文化、芸能団体を島根県に招致し、県内での公演、県民との交流活動を行う。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	交流件数（回数）	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
式・定義	県が関与する北東アジア地域との交流事業における交流件数の合計	実績値	4.00	0.00	1.00	1.00			
		達成率		0.00	33.30	33.40		%	
指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位		
								目標値	0.00
式・定義	実績値	0.00	0.00	0.00					
	達成率		0.00	0.00			%		

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	3,350	5,557
うち一般財源(千円)	2,400	2,779

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

平成26年度は、中国吉林省との友好交流の覚書を結んで20周年を迎えた年であり、和太鼓の演奏者を同省に派遣し、公演を行った。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

平成24年度には、吉林省から芸能団を派遣する旨申し出があり準備を進めていたが、当初予定していた公演が中止となったうえに、年度内に再度設定した日程も中止になったため、今年度は先方への派遣とし、同省の芸術大学において相互公演及び体験交流事業を行い、島根に対する理解を深めることにつながった。また、この交流をきっかけに、次年度には、同省の経費により、芸能団を島根に送りたいとの申し出もあり、実施に向けて調整している。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

韓国中国など、地域によっては政治状況や病気によって事業の実施が左右される場合がある。

②困っている状況が発生している「原因」

政治家発言、メディア報道等による世論の動向や感染症（SARS・MERS）等の状況。

③原因を解消するための「課題」

なかなか対応策が見当たらないところ。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

地理的、歴史的つながりから関係を構築している姉妹・友好交流先との相互交流を進め近隣諸国に対する理解を深めることは県民にとっても重要であり、継続して進めて行く。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）